



# “鶴舞う”群馬の

# 地域文化

—人と思想と民俗と—

千葉 貢

## 「地域づくり」の論考 —思想、和歌、風土—

県境をなぞってみた形から“鶴舞う”群馬という総称に秘められた地域文化—そこに息づいている人々の思いや民俗習慣、足跡等を尋ね、私の思いを重ねて小考づくりに努めてきたのだが、この動機づけを省みると、後世の私たちが生かされている指針や原動力のなかには、さらに継承すべき伝統や、果たすべき責任が含まれているということを教えられたのである。

(本文から)

# 鶴舞う群馬の地域文化

—人と思想と民俗と—

千葉  
貢

上毛新聞社

序 章 鶴舞う群馬の「地元」に生かされて

一	はじめに	——「烈業、汝を王にす」	132
二	「和歌」に情熱を込めて	.....	135
三	「草屋」に包みれながら	.....	138
四	山里に時は流れても	.....	141
五	「御蔭様」の精神	——結びに代えて	150

第四章

佐藤正子「歌集・評伝

言説」考

——天旭人の縁を言祝ぐ

一	はじめに	——先師・長塚節を思ひつり	154
二	「農なれば」こそその教養	.....	160
三	言葉の意味を紡ぐ	.....	168
四	「悲憤慷慨」もありて	.....	173
五	「農婦われ」は時の世を行く	——結びに代えて	180

第五章

佐藤正子「時代」を詠む

——吾妻川の瀬音に誘われながら

一	はじめに	——「和歌」は真摯のひと華	190
二	「水車」という史跡を問う	.....	195
三	「戦前・戦中・戦後」の時を経て	.....	200
四	「逆反」という政策の果てに	.....	208
五	だから「農婦われ」は生きる	——結びに代えて	216

	(一) 新聞による報道 / 46	
	(三) 喜寿の祝いと「須佐神」 / 47	
	(四) 「いしぶみの丘」の碑 —— 「得意淡然 失意泰然」 / 50	
	(五) 「矢立命」と「おしどりの碑」 / 51	
	(六) 「筆まめ」榮信、父母を語る / 56	
	二 「一人っ子」の榮信と岡部家 .....	60
	(一) 「運命」を背負った人 / 60	
	(二) 大地主としての岡部家 / 63	
	(三) 岡部家と舞馬事件 / 69	
	三 榮信の思想と活動 .....	75
	(一) 「分度・推諫」の精神 / 75	
	(二) 榮信の学問 (1) —— 父母の遺徳に学ぶ / 79	
	(三) 榮信の学問 (2) —— 「路上教授」と「屋学講義」 / 82	
	四 慈悲と慈愛の「心学思想」 .....	87
	(一) 「石門心学」に目覚めて / 87	
	(二) 榮信著「通俗 心学すゝめ」(1) —— 「報恩感荷」の教え / 91	
	(三) 榮信著「通俗 心学すゝめ」(2) —— 未来を担う人々のために / 101	
五	おわりに —— 榮信「一問を照らす」 .....	118

## II部 鶴舞う群馬の和歌を説く

### 第三章 和歌を紡いで五十年・佐藤止子「御蔭様」の精神

—— 吾妻の大地に生きる求道者

## “鶴舞う群馬”の地域文化

一人と思想と民俗と一

---

2010年12月24日 初版発行

著者 千葉 貢

発行所 上毛新聞社事業局出版部  
〒371-8666 前橋市古市町1-50-21  
TEL 027-254-9966

© 2010 Mitsugi Chiba Printed in Japan  
ISBN978-4-86352-039-4

---

価格はカバーに表示してあります。  
乱丁・落丁本はお取り替えします。  
許可なく無断で転載・複製・複製することを禁じます。



9784863520394

ISBN978-4-86352-039-4

C0095 ¥2800E



1920095028002

定価 2,940円  
(本体 2,800円+税)



〈目次から〉

序 章 “鶴舞う群馬”の「地元」に生かされて

I 部 ■ “鶴舞う群馬”の思想を説く

第一章 田山花袋「田舎教師」のなかの「環境」

第二章 在野の啓蒙家・岡部崇信

II 部 ■ “鶴舞う群馬”の和歌を説く

第三章 和歌を紡いで五十年・佐藤正子「御嶽様」の精神

第四章 佐藤正子「歌集・評伝・言壺」考

第五章 佐藤正子「時代」を詠む

III 部 ■ “鶴舞う群馬”の風土を説く

第六章 暮らしを支える民俗遺産

第七章 養蚕・蚕種業の民俗と伝承